

エクセレント牛誕生！！新村 手塚牧場

7月12日に南酪松本管内で日本ホルスタイン登録協会による、令和4年度前期体型調査・牛群審査が行われました。審査員は、日本ホルスタイン登録協会の高橋貞光審査員が務めました。

その内、松本市新村の手塚牧場で7頭の牛群審査を受けたところ、サンウエーブ サプライジング フィーバー号 平成25年5月15日生6産次 がエクセレント級（体型得点90点）の評価を受けました。手塚牧場では初のエクセレント牛と言うことです。

実はこの牛、生後4か月頃、左後肢飛節下を骨折して治療のためのギプスをしていた経緯があり、一時は廃用も考えたそうですが、将太さんの献身的な介護の結果、見事に立って歩けるようになったそうです。



昭和60年、父親の尚典さんが現在の牛舎を引き継ぎ、乳牛の改良にちからを注ぎ、県の改良同志会の副会長も務めました。その牛群を8年前の平成27年に将太さんが引継ぎました。それと同時に、今まで止めていた牛群審査も受ける様になりました。

今回の受験に当たり、将太さん曰く、「骨折した時は、もうダメかと思ったけど、あの時、諦めずに治療した甲斐があったし、この先の見えない飼料高が続く中でエクセレント評価だったので、これから経営していく上でのモチベーションにちょっとは繋がった」と答えて頂きました。

この厳しい情勢下でのエクセレント評価は、手塚牧場だけでなく皆の心に響くものでした。本当におめでとうございます。

◎ **第6回理事会報告 令和4年7月27日午前10時30分 南信酪農3F会議室**

1. 令和4年度第1四半期監査報告とてん末処理について
2. 配合飼料価格等の改訂について
3. 専門委員会委員の選任について
4. 飼料、資材、燃料等高騰対策について
5. その他

◎ **9月の屠場平日休業日のお知らせ**

松本屠場 9月2日（金）です。

◎ **トウモロコシ試験圃場現地検討会（モロコシフィールドデー）の開催について**

下記のとおり現地検討会を開催しますので、最寄りの圃場にご参加下さい。

地 区	開催日	時 間	場 所
中信地区	8月29日	午前11時～12時00分	三郷モロコシ試験圃
南信地区	9月1日		池上氏展示圃

※南信地区開催日は9月1日に変更となりました。

◎ **主な行事、予定**

- | | | | |
|------|-----------------|------|-----------------|
| 8/23 | 定例会 | 8/31 | 新生酪農(株)取締役会 |
| 8/25 | 理事会 | 9/1 | 南信地区モロコシフィールドデー |
| 8/29 | 中信地区モロコシフィールドデー | | |
| 8/30 | 東海酪連生乳受託販売委員会 | | |

◎ **メールアドレスの変更について**

令和4年7月1日よりメールアドレスが変更となり、旧アドレスは使えませんのでご注意ください。よろしくお願い致します。

新アドレス	松 本	nanrakum@dia.janis.or.jp
	上伊那	nanrakuk@dia.janis.or.jp
	下伊那	nanrakus@dia.janis.or.jp

◎ **全農長野乳代控除単価の期中改定について**

背景 飼料費・燃料費等の生産コスト高騰による厳しい状況に対応するため。

内容 全農控除額 5.54円/kg → **5.47円/kg** **(-0.07円/Kg)**

改定時期 令和4年7月出荷分（8月精算）より令和5年3月出荷分（4月精算）まで



令和4年度県乳代控除経費

項 目	令和4年度7月出荷分より (税別)			令和4年度 (税別)	
	単価 (円)	内訳 (円)	内容	単価 (円)	内訳 (円)
1. 集送乳経費 (流通諸経費) (課税)	5.30	5.30	集送乳運賃、地区MS諸経費 (CS管理運営等諸経費、生乳 需給調整費、乳質改善諸経費、 集送乳運賃ほか地区の生乳流通 販売に係わる所要経費)	5.30	5.30
2. 生乳需要拡大 特別対策事業 (課税)	0.02	0.02	県域段階・生乳需要拡大	0.09	0.09
3. 長野県生乳生産 販売委員会 生産者負担金 (不課税)	0.02	0.01	地域協議会活動費 (公共牧場等は対象外)	0.02	0.01
		0.01	青年部活動費		0.01
4. 補助事業等 負担金 (不課税)	0.05	0.03	生乳出荷賠償保険負担金	0.05	0.03
		0.02	中央酪農会議負担金 (公共牧場は対象外)		0.02
5. 乳質改善・生乳 安全安心・生産 性向上推進事業 (課税)	0.08	0.08	県乳質改善部会活動及び生乳生 産現場における安全安心への取 組み、生産性向上に係わる事業 の負担金	0.08	0.08
合 計	5.47	5.47		5.54	5.54



◎ **配合飼料価格安定基金（第1四半期）価格差補てん金の交付について**

配合飼料価格差補てん金を令和4年8月15日経済預り金（酪農口）へ振込みました。

	(全日基)	(全農基金)
通常補てん金単価	1,262 円/トン	5,039 円/トン
異常補てん金単価	4,761 円/トン	4,761 円/トン
合計	6,023 円/トン	9,800 円/トン

全日基は令和4年度の通常補てん金支払いについては分割して交付する事としました。（借入金を極力圧縮するため。）分割補てんでも最終的には一括補てんと同額が支払われます。

<今後の想定>

全日基が今後も分割補てんした場合の補てんシミュレーションは以下のとおりです。

		全農基金			全日基							補てん 単価差	
		通常	異常	補てん 単価	R4.4-6 月期分	R4.7-9 月期分	R4.10-12 月期分	R5.1-3 月期分	R5.4-6 月期分	通常計	異常		補てん 単価
R4年度	4-6月期	5,039	4,761	9,800	1,260	0	0	0	0	1,260	4,761	6,021	-3,779
	7-9月期	5,462	6,388	11,850	1,260	1,366	0	0	0	2,625	6,388	9,013	-2,837
	10-12月期	7,136	1,164	8,300	1,260	1,366	1,784	0	0	4,409	1,164	5,573	-2,727
	1-3月期	3,019	1,531	4,550	1,260	1,366	1,784	755	0	5,164	1,531	6,695	2,145
R5年度	4-6月期	1,300	0	1,300	0	1,366	1,784	755	325	4,229	0	4,229	2,929
	7-9月期	0	0	0	0	0	1,784	755	325	2,864	0	2,864	2,864

※5月の輸入原料通関価格を据え置いた場合の補てんシミュレーション

現時点では各基金によって補てん金の支払われ方が従来と異なります。

- ① 最初は全農基金の方が補てんが多くなります。
- ② しばらくすると逆転して全日基の方が補てんが多くなります。
- ③ 全農基金の補てん発動がなくなってからも、全日基のみ補てんが続くこととなります。



◎ 7月分支払乳代

項 目	単 価	摘 要	前年単価
① 共同計算単価	114.24円		114.09円
② 全農手数料	0.74円	全農長野取扱手数料	0.74円
③ 全農控除分	5.47円	(令和4年度乳代精算控除経費一覧表参照)	5.54円
④ 指導補導費控除分	1.30円	組合独自の控除	1.30円
⑤ 組織強化費控除分	0.7円	組合独自の控除	0.7円
⑥ 組合手数料	1.2%	差引乳代金×率	1.2%
⑦ 出荷総乳量		1,238,322kg	
⑧ 搾乳戸数			39戸

◎ 乳質・乳成分ペナルティー発生状況 (Bランク以下) 7月分 (戸数)

	乳脂肪分	無脂乳固形分	乳蛋白質	細菌数	体細胞数	合 計
上 旬	2	1	3	0	7	13
中 旬	1	0	4	0	6	11
下 旬	1	0	3	1	6	11
合 計	4	1	10	1	19	35

※ ペナルティー発生戸数 14戸

◎ 乳質・乳代精算の状況 7月出荷分乳代精算の結果は下記のとおりです。

	乳 量 (トン)	乳質奨励 (千円)	奨励単価 (円/kg)	乳質減額 (千円)	減額単価 (円/kg)	差引金額 (千円)	差引単価 (円/kg)
東海系	26,391	50,694	1.92	21,765	0.82	28,929	1.10
長野計	7,183	15,415	2.15	8,193	1.14	7,223	1.01
南 酪	1,238	2,638	2.13	641	0.52	1,997	1.61

◎ 月間良質乳ランキング分布表

良質乳総合得点	戸 数	乳 量
300点~200点	23	766,291kg
200点~100点	13	425,595kg
100点以下	3	46,436kg

【月間良質乳生産者上位10名(7月分)】

・平林 雄二	300点	・伊藤 章広	270点
・倉科 茂男	280点	・岩岡 俊義	260点
・丸山 勝広	280点	・(有)北アルプス牧場	260点
・唐澤 利幸	280点	・小林 秀昭	260点
・小野寺土菜	280点	・渡辺 俊夫	260点
・中島 博幸	270点		

同点のため11名



◎ 48～84 ヶ月の乳用牛の削蹄助成が受けられます

乳用後継牛緊急確保事業における取組メニューのひとつとして、乳用牛の供用期間の延長を図るため、分娩準備牛に対する削蹄に要した経費について補助があります。本年度、当組合では300頭分の事業申請が認められました。補助を希望される方は以下の留意点を確認の上、各事業所又は本所市岡までお問い合わせ下さい。

<留意点>

- ① 乳用牛で削蹄時の月齢が48 ヶ月から84 ヶ月であること。
- ② 削蹄後、当面は搾乳を継続できる牛であること。
- ③ 補助額は1,000円/頭、年度中1度限り。
- ④ 対象期間令和4年4月～令和5年2月までに削蹄を実施し令和5年3月までに削蹄料金の支払が行われたもの。但し組合経由で支払いしたもののみ対象。
- ⑤ 削蹄師及び獣医師に削蹄に係わる対象牛及び実施リスト、証明書（別紙所定様式）を発行してもらえらること。
- ⑥ 削蹄師、獣医師への口座振り込みであっても領収書を発行してもらえらること。
- ⑦ 削蹄料金の支払請求1件につき事務手数料として1,000円をご負担頂きます。
- ⑧ 補助金については令和5年4月以降中央酪農会議において確認、入金後、各預り金（酪農口）に振込まれます。

譲ります！

リバーシブルプラウ 18インチ

スガノ農機株式会社 製品型式 RQY 1630S

○希望価格 25万円（応相談）

○詳細（問い合わせ先） * * * * * まで

